

やすらぎの家デイサービスセンター令和5年度第2回 運営推進会議 議事録

日時：令和6年 2月20日(火)

場所：やすらぎの家デイサービスセンター

参加者：

利用者代表	0名	出雲市高齢者福祉課	1名
利用者家族	1名	地域ボランティア	2名
やすらぎの家デイサービスセンター 第三者評価委員			1名
事業所スタッフ（施設長・生活相談員）			1名

議題

1. デイサービスの利用実績について【資料 1】
2. デイサービス利用者の状況【資料 2】
3. 行事・活動について【資料 3】
4. サービス開始時の取り組み【資料 4】
5. 意見交換
6. やすらぎの家 日常の写真スライドショー

●利用状況について

【令和6年1月現在 利用登録者17名の状況】

性別	男性 1名	女性 16名			
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
分布	3名	7名	6名	1名	0名
利用頻度	週5日	週4日	週3日	週2日	週1日
	3名	1名	5名	5名	3名
平均年齢	79.64歳（昭和1ケタ4名、昭和10年代9名、昭和20年代4名） 71歳～97歳				
平均介護度	2.05				

●行事・活動について

実施状況

9月	火災避難訓練、長寿お楽しみ会（敬老会）、シルバーウィーク外出、調理ボランティアさんによる歌と紙芝居、おやつ作り（団子）
10月	運動会、誕生会、調理、おやつ作り（芋餅）
11月	誕生会、調理、おやつ作り（フルーツケーキ）
12月	冬至、忘年会 一年の思い出写真館、クリスマス会、餅つき、紅白歌合戦、調理
1月	初釜、鏡開き、新年会、誕生会、、送別会、調理、おやつ作り（芋餅）
2月	節分、バレンタインデー、誕生会、調理、おやつ作り（ういろう）

今後の行事予定

3月	ひなまつり、ホワイトデー、お彼岸ぼたもち作り、よもぎ摘み、 花見、誕生会、調理
4月	花見、喫茶、おやつ作り（桜もち、よもぎ団子）、調理

●やすらぎの家でのサービス開始時の取り組みについて

- ・介護保険申請後サービス導入の際、家族はデイサービスに出かけて欲しいが本人は出かけたくない。
⇒ いきなりデイサービスへ出かけるのではなく、訪問系のサービスを取り入れる事が多い。
訪問系のサービスで家に人が来ること、家族以外の人と話すことに慣れてもらう。
- ・ケアマネジャーからの基本情報を受け、サービス導入にあたり、本人にどういう理由で来てもらうのか、打ち合わせする。
⇒ 自分はまだ元気、デイサービスへ行く必要はない！という方に、週に1度だけ手伝ってもらえないか？ボランティアとして来てもらえるように話しを持って行く、など。
- ・できるだけ見学に来てもらう
⇒ 一度来て見てもらうことで、利用者・家族もどんな所なのか雰囲気もわかることで少し気が軽くなる。本人だけでなく、家族にも見てもらうことで、家族も知っていてくれるという思いから安心感に繋がることもある。
- ・情報は基本情報だけでなく、それまでの生活や若い頃からの趣味や好きな事、得意な事を聞いておく
⇒ 会話のきっかけとなる話題を知っておくことで、話を引き出せる、会話が弾み楽しめる。
- ・利用の目的をケアマネ、家族とも打ち合わせておく
⇒ 自分はまだ元気でデイサービスへ行くような年ではない、などと出かけたくない理由の方は多く、その人に合った目的（ボランティア活動、リハビリなど）をあらかじめ打ち合わせ、利用に繋げていく。
- ・契約しても行けるかどうかわからないと不安な方にはお試し利用もあり（介護保険外 自費）
- ・一般型デイサービスから認知症専用デイサービスへ移行する場合
⇒一般型デイで何が問題になって移行することになったのかあらかじめ聞いておき配慮する。
- ・家族送迎
⇒本人の調子のいい時間を家族が見て誘い、一緒に向かう事で少しでも安心に繋がる。

●利用が継続できるためにやすらぎの家で取り組んでいる事

- ・役割となる活動を取り入れる
- ・仲間づくり
- ・自分のことは自分でする
- ・やりたいことをする
- ・自分で決める
- ・自宅での生活の動きを考える
- ・自宅ですべてできていることを続けられる

在宅での生活を継続するために、自宅での生活の動きを想定して体を動かすようにしている。畳での生活、階段の上がり降り、入浴での動きなど。

●意見交換

- ・サービス開始時の取り組みについて

【市高齢者福祉課】

認知症のデイサービスということで、サービス導入時の流れとその時々での細やかな配慮があり、参考になった。

【第三者評価委員】

こういった町の中に地域の中にあるデイサービスということに意味がある。近所の方が気軽に声をかけられ、地域の皆様に見守られていることが良いと思います。

【家族】

うちも一度デイサービスを試みたが、本人が嫌がり訪問のサービスだけを利用していた。徐々に介護が必要な場面が増え、ケアマネジャーからもデイサービスをすすめられたが、無理じゃないかと思っていたが、こちらへは案外スムーズに利用ができ、回数も増やしている。

- ・行事について

【市高齢者福祉課】

行事がたくさんで工夫し計画されている事で、充実して楽しまれている様子が見える。

【ボランティア】

行事の際に手伝えることがあれば協力したいと思うので、声を掛けてほしい。

【家族】

デイの連絡ノートに様子が書かれている事や、写真の姿を見ても家とは別人のようで、本当かと疑うようだ。

【第三者評価委員】

家とは違い、ここでは仲間がいることが良いのだと思う。取り組みの中でも話された『仲間づくり』を意識しておられるので、家とは違う姿になるのでしょう。

- ・その他

【第三者評価委員】

日常的に近所を散歩等で歩かれる中、利用者それぞれの歩行可能距離の把握をしておくことが必要だと思う。いつもの散歩コースがだいたい何メートルあるのか把握しておくことで、外出時にこのくらいなら歩行できるという目安がつくので、リスク管理にも役立つと思う。